

## 資料 2 - 1 0

### 諮問第 2 7 7 号の答申における今後の課題への対応について

#### 〔 今後の課題 〕

経済産業省生産動態統計調査の集計結果については、分野ごとの結果報告書等により、毎月公表されているが、現行では、結果報告書に記載されている品目の金額ベースの合計値について、例えば、機械統計月報（結果報告書）では、掲載されているのに対し、化学工業統計月報（結果報告書）では掲載されていないなど、結果報告書により、その掲載状況がまちまちとなっている。

今後、生産動向が価格変化へどのように影響しているか等を分析する際には、金額ベースの合計値が必要となるので、この合計値を可能な限り結果報告書に掲載していくことについて、検討する必要がある。

#### 〔 今後の課題への対応 〕

経済産業省生産動態統計調査では、調査結果について 7 種類の報告書にとりまとめ、印刷物及び経済産業省のホームページで公表している。

答申の今後の課題を受け、これらの結果報告書について、金額ベースの合計値を掲載することが可能であるか、必要性を含め検討した。

本調査は、基本的に毎年、調査票や調査項目について見直しを行っている。それにより報告書間で品目が移動することもあり得るため、それぞれの報告書の合計とした場合に時系列を利用するユーザーに誤解を与える恐れがある。実際に平成 1 4 年に組織の再編等により「鉄構物及び架線金物月報」など 1 1 月報（調査票）が「機械統計月報」から「鉄鋼・非鉄金属・金属製品月報」に移動した。

また、報告書で機械統計合計とした場合には、ユーザーに機械関連の全ての品目を毎月調査しているかのように受け取られることも考えられる。機械関連の品目で未調査のものも多くあることから、ユーザーに誤解を与えないためにも結果報告書毎の合計金額は掲載しないこととしたい。